

科目名称：	ビューティ演習（美術学科）	
担当者名：	上野 佐奈美	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
この授業では社会人になってからも活かせる、トータルビューティをセルフビューティ、メンタルビューティ、文化ビューティの三つのプログラムで実施していきます。セルフビューティでは就活メイク、ビジネスメイクやスキンケア等の基礎知識と基本技術の習得を通じて社会人としての身だしなみメイクを身につけます。メンタルビューティでは自分らしくかつ目的に合わせた好印象の基本知識と技術を身につけます。文化ビューティでは日本文化を背景とした美学の基本を学びながら自分自身の美意識の向上とそれに伴う知識と技術また作法等も学びます。その一つとして日本に古くから伝わる「ふろしき」を用いて指先から学ぶ所作を身につけます。さらに、文化教養とこれからの生活スタイルに欠かせないエコロジーの観点の融合でエシカルビューティも目指していきます。		
授業の達成目標・到達目標		
セルフビューティプログラムでは就活メイク、スキンケア&ヘアケア、セルフネイルケア、イメージカラー、ハンドケア（アロマ&ハーブ等）の基礎知識を学び実際に演習を通じて基本技術を身につけます。また外見だけではなく「内面を整えて外見を輝かす」メンタル×ビューティで内面も整えていきます。文化ビューティプログラムでは、セルフ着付けで自分で浴衣が着れるようになること。また日本に伝わる「ふろしき」を用いて指先から学ぶ所作を身につけます。ビューティマナーや文化教養を通じて日本の美意識を養いながらトータルにイメージアップをはかります。		

美術学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、美術を通して様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP (2)	様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、美術を通して、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP (3)	美術の分野において基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用し表現していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP (1)					0
美術DP (2)					0
美術DP (3)		10	30	60	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容 1》 ビューティ&カルチャー教室主催	《経験年数 1》 20年
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
パーソナルカルテの作成 (SBT)	全ての項目に関して80%～100%具体的に記入されている。次回の課題と目標が明確に述べられている。	全体の項目の60%～80%は記入されている。次回の課題や目標の明確さには欠けるがまとまった内容で書かれている。	全体の項目の40%～60%は記入してる。次回の課題や目標のどちらか一つだけ書いてある。または二つ書いてあるが明確さや丁寧さに欠ける。内容のまとまりに欠ける。	全体の項目の20%～40%程度記入してある。次回の課題や目標が立っていない。
積極的な実技実習参加	学んだことを活かしながら、積極的に実習に参加する。特定の人とだけペアになるのではなく円滑なグループワークに取り組んでいる。	学んだことを活かしながら実習に参加する。グループのみんなと意見交換をしている。	実習に参加する。グループワークの時はいつも決まった人とペアになる。	実習に参加しない。または参加してもイヤイヤ参加。
共同的なグループ実習参加	グループのリーダーとして時間配分やグループメンバーの実習についてもサポートして	グループのリーダーをサポートしながら、実習に積極的に参加する。	グループの一員として、まじめに参加した。	グループワークに参加しない。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回	セルフビューティプログラム1（就活の身だしなみ、就活メイク、メイク基本） （レポート提出1）メンタルビューティプログラム1	シラバスの精読	10分
第2回	セルフビューティプログラム2（スキンケア、就活メイク、メイク基本） メンタルビューティプログラム2	シラバスの精読。持ち物（メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡）	40分
第3回	セルフビューティプログラム3（肌の基礎知識） メンタルビューティプログラム3	就活メイクや就活の身だしなみについて復習する（持参：メイク道具、顔全体が映る鏡） 資料（復習、予習）	40分
第4回	セルフビューティプログラム4（肌の基礎知識） メンタルビューティプログラム4	就活メイクや就活の身だしなみについて復習する（持参：メイク道具、顔全体が映る鏡） 資料（復習、予習）	40分
第5回	セルフビューティプログラム5（イメージカラー） メンタルビューティプログラム5	就活メイクや就活の身だしなみについて復習する（持参：メイク道具、顔全体が映る鏡） 資料（復習、予習）	40分
第6回	セルフビューティプログラム6（イメージカラー） メンタルビューティプログラム6	就活メイクや就活の身だしなみについて復習する（持参：メイク道具、顔全体が映る鏡） 資料（復習、予習）	40分
第7回	文化ビューティプログラム1（セルフ浴衣の着付け、ふろしき所作） 着物にあったメイク、ヘアスタイル、ビューティマナー	就活メイクやビューティマナーについて復習する（持参：メイク道具、顔全体が映る鏡） 資料（復習、予習）	40分
第8回	文化ビューティプログラム1（セルフ浴衣の着付け、ふろしき所作） 着物にあったメイク、ヘアスタイル、ビューティマナー	就活メイクやビューティマナーについて復習する（持参：メイク道具、顔全体が映る鏡） 資料（復習、予習）	40分
第9回	文化ビューティプログラム1（セルフ浴衣の着付け、ふろしき所作） 着物にあったメイク、ヘアスタイル、ビューティマナー	就活メイクやビューティマナーについて復習する（持参：メイク道具、顔全体が映る鏡） 資料（復習、予習）	40分
第10回	文化ビューティプログラム1（セルフ浴衣の着付け、ふろしき所作） 着物にあったメイク、ヘアスタイル、ビューティマナー	就活メイクやビューティマナーについて復習する（持参：メイク道具、顔全体が映る鏡） 資料（復習、予習）	40分
第11回	文化ビューティプログラム1（セルフ浴衣の着付け、ふろしき所作） 着物にあったメイク、ヘアスタイル、ビューティマナー	振り返り全体の復習	40分
第12回	セルフビューティプログラム7（就活メイク、セルフネイル） メンタルビューティプログラム7	振り返り全体の復習	40分
第13回	セルフビューティプログラム8（セルフネイル） メンタルビューティプログラム8	振り返り全体の復習	40分
第14回	セルフビューティプログラム9（総合演習、まとめ） メンタルビューティプログラム9□	振り返り全体の復習	40分
第15回	セルフビューティプログラム10（総合演習、まとめ） メンタルビューティプログラム10	振り返り全体の復習	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
講義時間内の小テスト10%（1回10%×1回） レポート提出30%（1回10%×3回） 実技チェック30%、講義、実習に関する積極的関与を30%で評価する。

課題に対してのフィードバック

授業内、次回までの課題レポートは評価し、返却する。また、実技チェックはその都度、技術向上に向けてのアドバイスを含め評価する。

教科書・参考書

オリジナル教材セットの購入、その他、演習用の基本のメイク道具、ネイル道具の消耗品が必要。